



地藏橋親水広場 (撮影 阿部会員)

令和4年5月号 Vol. 217
(2022年)

発行：令和4年5月13日

あつぎ観光ボランティアガイド協会

ホームページ <http://atugikanvola.sakura.ne.jp>

メールアドレス atugikanvola@yahoo.co.jp

発行責任者 会長 森島 誠 編集担当者 澤田 正弘

《第18回あつぎ観光ボランティアガイド協会通常総会》

行事区分：通常総会

日 時：4月22日(金) 13:00~14:30

場 所：アミューあつぎ ルーム602・603

参加者：来賓3名 会員21名(新会員2名含む)

第18回通常総会が令和4年4月22日、あつぎ市民交流プラザの会議室で開催されました。会員総数33名のうち出席会員数は19名、委任状提出会員数は7名でした。

3月21日にまん延防止等重点措置

が全国的に解除され、私達あつぎ観光ボランティアガイド協会は活動を再開し、所属している県西観光ボランティアの会とかながわガイド協議会も再び動き始めました。

森島会長と来賓の挨拶の後、議長が選出され、令和3年度の活動報告がありました。昨年度はコロナ禍で全ての企画ガイドが中止となり、歴史探訪は会員研修が5件のみ、ハイキングはまん延防止解除後の企画ガイド「八菅山・鳶尾山ハイキング」が1件のみでした。これは2年3ヶ月ぶりの企画ガイドでした。

会計監査報告が済み、令和4年度の活動方針(案)の説明がありました。歴史探訪は企画ガイド3件、会員研修2件、ハイキングは企画ガイド5件、これらは去年実施できなかった企画を中心に計画されました。他団体の主催する外部研修に関しては興味深いツアーが10件予定されています。学べる事が多い研修の割には参加する会員が少ないのが現状です。より多くの会員の参加が望まれています。

新会員の獲得は我が協会の喫緊の課題ですが、昨年度はコロナ禍の為にボランティアガイド養成講座を実施する事が出来ませんでした。本年度は新しい企画のもとに実施する方針です。華々しいカラーの募集チラシや目玉となる講演を中心に据える等の新戦略です。

議事終了に当たって受けた質問「本年度は何に重点を置くのか？」に対して、会長は「会員募集」と答え、「その為の予算を確保している」と意気込み充分でした。



最後に各役員がそれぞれの思いを込めて今年度の抱負を誠実に述べた事に、信頼と共感を感じました。また二人の新会員の自己紹介は個性的で希望が感じられ、彼らの期待にベテランは答えなければなりません。



あつぎ観光ボランティアガイド協会が平成16年（2004年）に発足してから、18年が経ちます。来賓の厚木市観光協会 加藤明夫様のご挨拶の中でその事に触れられた時、この会場で着座されている初期からのメンバーをひとりひとり確かめて、改めてその堅実な姿勢と培ってきた歴史に感銘を受けてしまいました。

そして、ワクワクしながら資料を調べ、現場へ行き、また資料をひっくり返し、それが楽しかった、と笑って話してくれた先輩会員の中には、既に会う事の叶わなくなった方が少なくありません。その地道で真面目な熱意を自身の反省を込めて、この総会の日に思い出しました。
(前澤 記)

《臨時観光客入込み調査》

行事区分：行事支援

日 時：3月19日、20日、21日、24日、25日、26日（計6回）
9：00～16：00

場 所：広沢寺温泉（七沢観光協会駐車場）

参加者：会員延べ19名

ポンポンと黄色く小さな花が毬のように集まって咲くミツマタが群生し、圧倒的な姿を見せる3月中旬の不動尻は、ここ数年人気の高まりと共に多くの方が訪れます。そこで今年、観光客の動向調査及び今後の対策への参考を目的とした、6回の入込み調査が行われました。



まず驚いたのは来訪される観光客の多さです。ミツマタを目指して来られた多くの方で駐車場はすぐに満車、8時前に駐車待ちの列が出来た日もありました。その為、まずは駐車場内の誘導や地域の方が調整して下さった離れた駐車場へのご案内に奔走、合間に来場車のナンバーの確認を行います。また通常の入込み調査と並行して今回の調査用のアンケートも実施、これには多くの方が快くご協力下さいました（お礼の厚木銘菓のおかげですね）。



インターネットや口コミでミツマタのことを知り、初めて足を運ばれた方も多くいらっしゃいます。不動尻へのルートや近隣情報など、様々なお問い合わせへの対応で慌ただしく時間が過ぎていきましたが、戻ってこられたお一人おひとりの笑顔や満足そうなご様子に、ホッと胸をなでおろしました。

同時に、観ボウならではの親しみやすさや地域を知るからこそできるご案内、そして臨機応変な対応等が、来訪された皆さんの楽しい一日のお役に立っている、ということを感じることが出来ました。
(毛利 記)

《八菅山・鳶尾山ハイキング（春のお花を満喫）》

行事区分：企画ガイド（ハイキング）

日 時：3月31日（木） 9：30～15：00

場 所：八菅山・鳶尾山

参加者：一般22名、会員8名

3月31日（木）に八菅山・鳶尾山ハイキングが実施されました。協会としては2019年12月以来2年3ヶ月ぶりの企画ガイドで、私にとっては観ボラに入会して初めての参加でした。参加者22名、会員8名が2班に分かれ、私は写真係と一番後ろでの人数確認を受け持ちました。



雨予報が出て午後の天候を心配しながらのスタートでした。田尻集落の道祖神を見た後、中津川カントリークラブへと向かいました。ここでは期待通りほぼ満開の桜のアーチの下を進みました。途中では皆さんは足元の野草を見つけ、写真を撮ったり、名前を確認したりしました。女性陣は初対面にもかかわらず、賑やかで、ゆっくりだったので、遅れがちなグループの速度が心配でした。八菅山、八菅神社と進み、いこいの森で昼食を摂り、鳶尾山では一等三角点についてのクイズで楽しみました。全員での記念写真を撮り、天覧台公園に降りて15時過ぎに無事全行程を終わりました。

「春のお花を満喫」のタイトル通り皆さん野草観察に満足されたと思います。野草に詳しい男性が多いのに驚き、私もこれから少し足元の小さな花に興味を持つと思った初ガイド体験でした。
(小林 記)



厚木市マスコットキャラクター

あゆむ回ちゃん

【飯山白山森林公園桜の広場リニューアルオープン】

飯山観音桜の広場のリニューアル工事が完了し、3月9日に小林厚木市長をはじめ来賓の皆様が参列のもとオープンセレモニーが行われました。

当日から一般に開放され、利用できるようになりました。

5,900 m²の桜の広場は、桜の木の老木化が目立ち、広場の雑草が目立っていましたが、地元の皆さんや関係者による3年半に及ぶ検討の上、計画がまとまり桜の木の若返りと四季を通じて楽しめる広場を目指して改修工事が行われました。



桜の名所と言われていた桜の広場の桜は、老木が目立ち花の数も少なくなったため57本の

内 47 本を伐採し、新たに色々な種類の桜が 29 本植栽されました。

改修後は広々した遊歩道や、ウッドデッキのステージ、ベンチ、子供用遊具や健康遊具などが設けられ、明るく老若男女が楽しむことが出来る広場になりました。

植栽された若木のカンヒザクラやサンシュユが花を見せていましたが、今後大きな木に成長し、観光や行楽客で賑わいが戻ると予想され楽しみです。広場改修を祈念して八重紅シダレ桜の記念植樹も行われました。今回の改修に引き続き、飯山白山山頂までのハイキングコースの検討・改修を行う予定です。桜の広場まで登って来る石段の参道も整備されて安心して登れる石段に改修されました。
(森島誠 記)



ステージでのオープンセレモニー



桜の広場の遊具

最近の活動

日付	場所	内容	参加者
4月9日	アミューあつぎ	定例会	会員 19名
4月18日	小田原市	かながわガイド協議会 幹部研修会	会員 1名
4月22日	アミューあつぎ	第18回通常総会	会員 21名
4月30日	飯山地区	訪問ガイド下見 「飯山の歴史を訪ねて」	会員 10名
5月8日	市内5拠点	春季観光客入込み調査	会員 11名
5月9日	南公民館	編集会議	会員 4名

編集後記

2年3か月ぶりに開催された企画ガイド（八菅山・鳶尾山ハイキング）は天候にも恵まれ、素晴らしい景色や、きれいな草花が見られて、参加されたお客様に大変喜んでもらえました。

今年のゴールデンウィークは大勢の人達が出かけ、観光地では久しぶりの賑わいが見られた様です。今年度こそは予定している企画ガイドが全て実施出来るといいですね。

編集委員 阿部 啓冊 小林 直樹 澤田 正弘 前澤 宣子